

各位

一般社団法人ナレッジキャピタル
株式会社KMO



グランフロント大阪 知的創造拠点「ナレッジキャピタル」
世界最高峰のクリエイティブ・文化機関「アルスエレクトロニカ」とのコラボレーション第四弾

ARS ELECTRONICA in the KNOWLEDGE CAPITAL vol.04

「ROBOTINITY ロボットらしさとはなんだろう」展を開催

日本初登場！ホームレス型ロボットを使用して社会とロボットの関わりを探求

開催期間：2015年7月30日(木)～2015年10月4日(日)

開催場所：グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル「The Lab.みんなで世界一研究所」2階

一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原 秀夫)ならびに株式会社KMO(代表取締役社長:間渕 豊)は、オーストリア・リンツ市のクリエイティブ・文化機関アルスエレクトロニカとのコラボレーション企画第四弾「ROBOTINITY ロボットらしさとはなんだろう」展を、2015年7月30日(木)から10月4日(日)までの期間、グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル「The Lab.みんなで世界一研究所」にて開催します。

「ROBOTINITY」とは、アルスエレクトロニカが生み出した造語で、ロボット性・ロボットらしさとは何かという問いかけを含んでいます。

今回の展示では、ホームレスロボット「ディルク」のパフォーマンスで社会とロボットの関わりを挑発的に表現する『エレクトリック・サーカス』をはじめ、ユニークなアプローチで「新しいモノづくり時代のロボット」に取り組む国内外のアーティストが参加します。またアルスエレクトロニカ フューチャーラボの活動にフォーカスし、ロボットに関わる最先端のアートプロジェクトや作品を「The Lab.」で展示・紹介します。

(入場・体験無料)

また、7月30日(木)から8月1日(土)の3日間は、参加アーティストが国内外からナレッジキャピタルに集結するスペシャルプログラムを開催し、ナレッジキャピタルで活動する参画メンバーや一般の来場者と一緒にこれからの「ロボット文化」について議論します。



見る人に驚きと衝撃を与える
ホームレスロボット「ディルク」

アルスエレクトロニカ(ARS ELECTRONICA)とは



Photo: Nicolas Ferrando,
Lois Lammerhuber

オーストリア・リンツ市に拠点を置く、メディアアートの世界最高峰の機関。毎年9月にアート・テクノロジー・社会をテーマに行われる「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」の他、美術館・科学館としての「アルスエレクトロニカ・センター」、メディアアートの最先端コンペティションである「プリ・アルスエレクトロニカ」、R&D 機関である「フューチャーラボ」の4部門があり、日本からも多くのアーティストが参加している。

本件に関するお問い合わせ先 一般社団法人ナレッジキャピタル(担当:稗方・奥村)

電話:06-6372-6427/FAX:06-6359-2970/URL:<http://kc-ijp/>

【開催概要】

名 称: 「ROBOTINITY ロボットらしさとはなんだろう」展

期 間: 2015年7月30日(木)~2015年10月4日(日)

開館時間: 10:00~21:00

会 場: グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル「The Lab.みんなで世界一研究所」2階

入 場 料: 無料

主 催: 一般社団法人ナレッジキャピタル

【参加アーティスト】

① Electric Circus(エレクトリック・サーカス)プロフィール



発明家のフレッド・アベルスと人形遣いミリアム・ランゲマイヤーによるアート・ユニットです。ホームレスロボット「ディルク」や猿型ロボット「モノ」を開発、世界各国で公共空間におけるパフォーマンスを行っています。「ディルク」はいつも人々に囲まれ、ロボットだと分かったとき驚きをもって受け入れられます。見た目だけではなく、ひととのコミュニケーションを通じた動きの「本物らしさ」を追求しています。



◆紹介作品(予定) / ホームレスロボット「ディルク」

自由に道を歩きまわることのできるアンドロイドです。彼はまだ生まれてから短いですが、すでに多くの人間的な武勇伝があります。人間と信じられて連れられたり、お金を恵んでもらったり、ドイツのショッピング・モールでは逮捕されたことさえありました。「ディルク」に出会い、彼の不思議な姿を発見してみませんか？

※7/30~8/1の3日間のみ、ナレッジキャピタル「The Lab.」内のどこかに出現します。アーティストによる実証実験を兼ねているため、出現場所・時間については非公表です。

② ARS ELECTRONICA FUTURELAB(アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ)プロフィール

アルスエレクトロニカの研究開発部門で、次世代のアート、テクノロジー、社会のかたちを探求するアトリエでありラボです。ここから生み出されるのは、アーティストックかつ実験的な視点で描かれる「未来のスケッチ」。多様な専門性をもった国際的なメンバーがチームとなり、「ROBOTINITY」の研究を含むさまざまなイノベーションプロジェクトを実現しています。



・ホースト・ホートナー/アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ ディレクター

研究・開発部門であるフューチャーラボを立ち上げ最先端のアートプロジェクトを率いる。近年では、ロボット技術をベースにした芸術表現「Spaxels(スペクセルズ)」、「Smart Atoms(スマート・アトムズ)」の研究を推進中。



・小川秀明/アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ所属

アルスエレクトロニカ・センター新館オープンに携わった後、アーティスト、キュレーター、リサーチャーとして活躍中。

◆紹介作品(予定)

・「Spaxels (スペクセル)」

「Spaxels(スペクセル / space と pixels の混成語)」は、プログラム可能なLEDの搭載されたクアドコプター(4つのプロペラをもつ飛行物体)で、光の群れをつくることで夜間に壮大な3次元の映像を描くことができます。アルスエレクトロニカ・フューチャーラボは、これらの領域での唯一のプレーヤーとして、コンピュータを超えた実空間におけるドローンの芸術的な表現に取り組んでいます。



・「Oribotics(オリボティクス)」

「Oribotics は自然・折り紙・ロボット工学をつないで新しい美を生み出す研究です。山折り・谷折りを緻密に組み合わせた折り目パターンとロボットの動きを組み合わせ「折り目の連続動作」が起きるようつくられています。「折り」の複雑な表現を可能にする折り目パターンを発見し、自律的に折りたたまれる素材へと進化させることを目指しています。



③ PLEN Project Committee(プレンプロジェクトコミッティ)プロフィール

ロボットテクノロジーを用いたロボット開発、アート活動、教育などを通して、その可能性や楽しさをもっと身近に、あらゆる世代の人々に感じてもらうための活動を行っています。2006年に小型ヒューマノイドロボットPLEN(プレ)を開発。PLENは世界中のホビイストやアーティストに愛され、2009年にはアルスエレクトロニカでPLEN Parkというインタラクティブなロボットのインスタレーションを発表。PLENが開発されてから8年、2014年に発表されたPLEN2はKickstarterでの資金調達を成功させ、2015年秋に製品化されます。

◆紹介作品(予定) / 「PLEN2 (プレんツー)」

「PLEN2」は「誰もが作れて、カスタマイズできるロボット」をコンセプトに作られた、小さなヒューマノイドロボット。18個の関節(サーボモーター)を持ち、細やかな動きができます。制御回路、ソフトウェア、パーツのデザインといったロボットの主な構成要素はオープンソースで、だれもがアクセスできます。多くのパーツは3Dプリンターで自作でき、デザインや機能を作って自分だけのロボットにカスタマイズが可能です。今後はPLEN2をプラットフォームにしたオープンなロボット開発コミュニティの形成を目指します。それは、ロボット独自の進化を促すかもしれません。



【土・日・祝日限定ワークショップ開催概要】

◆「くるまっち」 協力:トヨタ自動車株式会社 未来プロジェクト室 くるま育研究所

子どもたちとモビリティとの新しい関係性を考え創り出すためのワークショッププログラムです。クルマを自分自身やパートナーとして見立てることで、想像力を掻き立て、個人個人の考えを引き出しながら、自分だけのコンセプトを創作することができます。自分と他人の関係、都市や社会との関係性を考えながら、「くるまっち」を通して、自分の役割、社会のあり方を考えます。

※数量限定/なくなり次第終了 プリントアウトした「くるまっち」はお持ち帰りいただけます。



■くるま育研究所とは

アートの力を用い、クルマに内包された多面的価値を発見・開放していくと同時に、子どもたちの創造性を育み、生活者との新しい関係構築を目指しています。

【スペシャルプログラム 開催概要】 ※事前申し込み

■7月30日(木) オープニングパーティ&展示レクチャー

時間 : オープン17:30ー スタート18:00ー (20:00終了予定)

会場 : The Lab.2F アクティブスタジオ

参加費 : ¥1,000(飲食代金として)

定員 : 50名(予定)

ゲスト : エレクトリック・サーカス、プレンプロジェクトコミッティ、アルスエレクトロニカメンバー

■7月31日(金) トークセッション「ROBOTINITY」

時間 : オープン17:30ー スタート18:00ー (21:00終了予定)

会場 : ナレッジサロン プレゼンラウンジ(7F)

定員 : 50名(予定)

ゲスト : エレクトリック・サーカス フレッド・アベルス/ミリアム・ランゲマイヤー

アルスエレクトロニカ フューチャーラボ ホースト・ホートナー/小川秀明

プレンプロジェクトコミッティ 赤澤夏郎

■8月1日(土) ARS ELECTRONICA ROBOTINITYワークショップ

テーマは「Smart Atoms(スマートな原子)」。もしも世界を構成する原子がスマートになったのなら、どんな世界を描けるでしょうか。「Smart Atoms(スマートな原子)」という切り口から、これからのロボットらしさをプロトタイプします。

時間 : オープン13:30ー スタート14:00ー (17:00終了予定)

会場 : ナレッジサロン プレゼンラウンジ(7F)

ゲスト: アルスエレクトロニカ フューチャーラボ ホースト・ホートナー/小川秀明

定員 : 20名(予定)